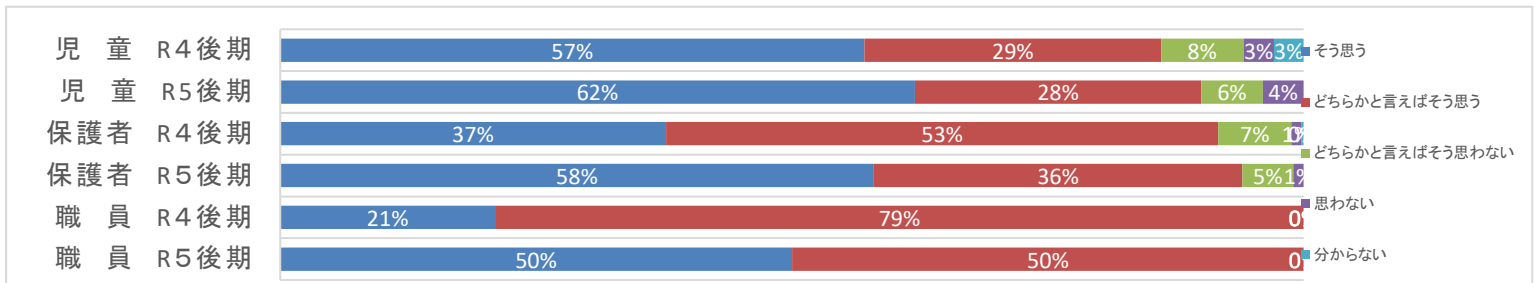


令和5年度 鷹岡小学校 学校評価まとめ

1 生活について

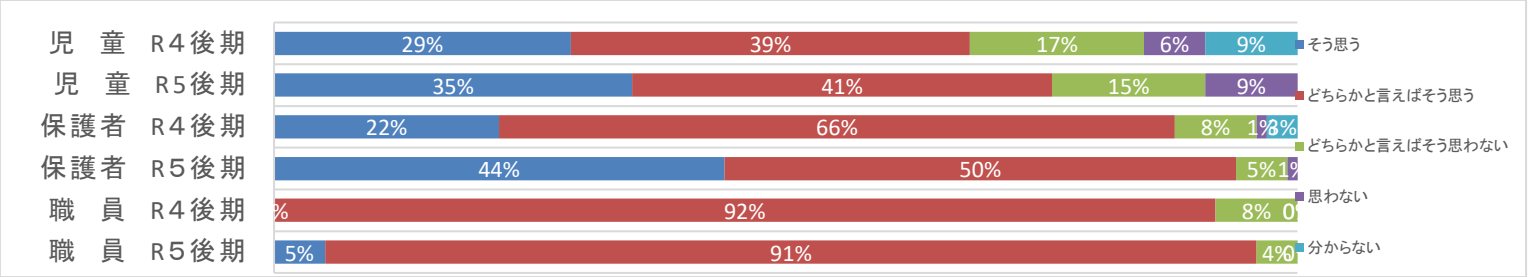
①【保護者】【職員】子供は、学校に楽しく通っている。
【児童】学校は楽しい。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	57%	29%	8%	3%	3%
児童 R5後期	62%	28%	6%	4%	
保護者 R4後期	37%	53%	7%	1%	0%
保護者 R5後期	58%	36%	5%	1%	
職員 R4後期	21%	79%	0%	0%	0%
職員 R5後期	50%	50%	0%	0%	



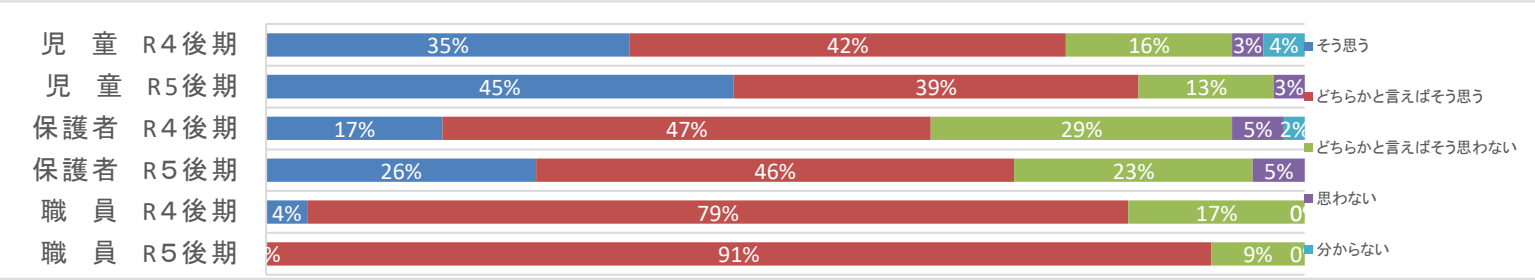
②【保護者】【職員】子供は、自分にはよいところがあると思っている。
【児童】自分にはよいところがあると思う。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	29%	39%	17%	6%	9%
児童 R5後期	35%	41%	15%	9%	
保護者 R4後期	22%	66%	8%	1%	3%
保護者 R5後期	44%	50%	5%	1%	
職員 R4後期	0%	92%	8%	0%	0%
職員 R5後期	5%	91%	4%	0%	



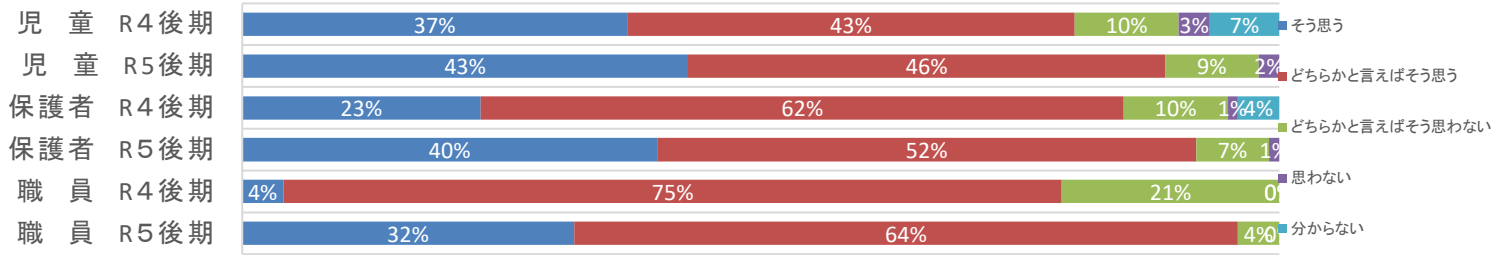
③【保護者】【職員】子供は、普段から進んで勉強や運動をしようとしている。
【児童】進んで勉強や運動をしている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	35%	42%	16%	3%	4%
児童 R5後期	45%	39%	13%	3%	
保護者 R4後期	17%	47%	29%	5%	2%
保護者 R5後期	26%	46%	23%	5%	
職員 R4後期	4%	79%	17%	0%	0%
職員 R5後期	0%	91%	9%	0%	



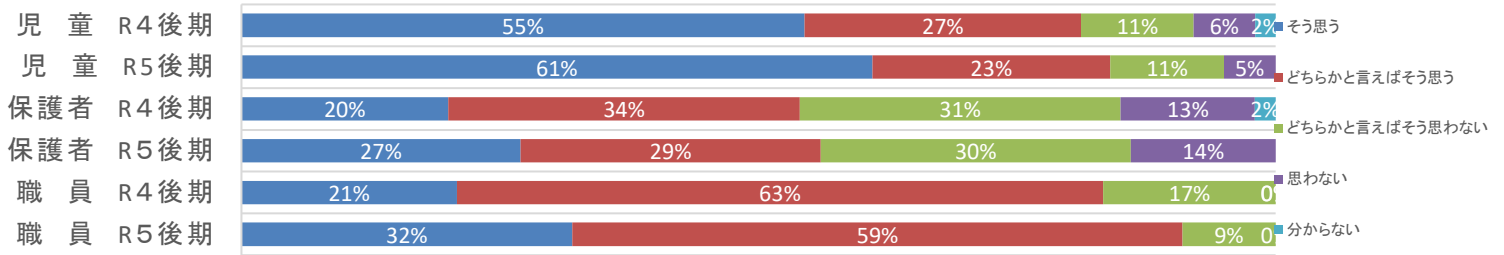
④【保護者】【職員】子供は、友達の思いを受け止めたり、優しく声を掛けたりすることができる。
 【児童】友達の気持ちを聞いたり、優しく言葉を掛けたりすることができる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	37%	43%	10%	3%	7%
児童 R5後期	43%	46%	9%	2%	
保護者 R4後期	23%	62%	10%	1%	4%
保護者 R5後期	40%	52%	7%	1%	
職員 R4後期	4%	75%	21%	0%	0%
職員 R5後期	32%	64%	4%	0%	



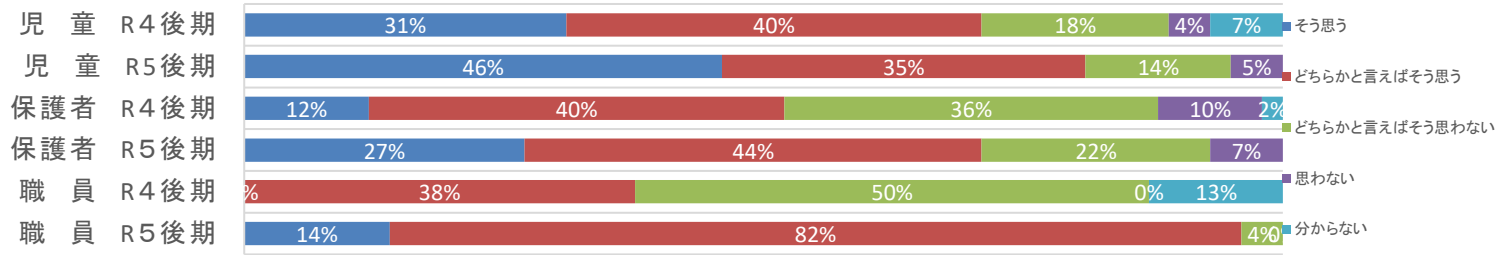
⑤【保護者】【教職員】子供は、読書を楽しんでいる。
 【児童】読書は楽しい。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	55%	27%	11%	6%	2%
児童 R5後期	61%	23%	11%	5%	
保護者 R4後期	20%	34%	31%	13%	2%
保護者 R5後期	27%	29%	30%	14%	
職員 R4後期	21%	63%	17%	0%	0%
職員 R5後期	32%	59%	9%	0%	



⑥【保護者】【教職員】子供は、家での学習を頑張っている。
 【児童】家での学習を工夫して頑張っている。

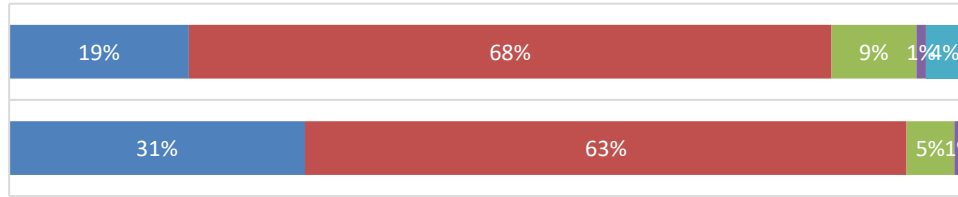
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	31%	40%	18%	4%	7%
児童 R5後期	46%	35%	14%	5%	
保護者 R4後期	12%	40%	36%	10%	2%
保護者 R5後期	27%	44%	22%	7%	
職員 R4後期	0%	38%	50%	0%	13%
職員 R5後期	14%	82%	4%	0%	



⑦【保護者】鷹岡小は、安心して子供を任せられる学校であると思いますか。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
保護者 R4後期	19%	68%	9%	1%	4%
保護者 R5後期	31%	63%	5%	1%	

保護者 R4後期



保護者 R5後期

〈考察〉

設問①「学校は楽しい（子供は、学校は楽しいと思っている）」の肯定的な回答（そう思う・どちらかと言えばそう思う）が昨年度にくらべ、児童・保護者・職員の3者において上昇しています。また、設問⑦「鷹岡小は、安心して子供を任せられる学校である。」についても、保護者の皆様から94%の肯定的な回答があり、高い評価をいただいています。今年度は、5月に新型コロナウイルスが5類となり、これまで制限されていた学校活動もコロナ前に近い形で実施することができたこともその要因かもしれません。教職員にとって、子供たちが「学校が楽しい」と感じ、元気に登校してくれることが最もうれしいことです。今後も、鷹岡小学校に通うすべての子供が楽しいと感じられる学校を目指して取り組んでいきます。

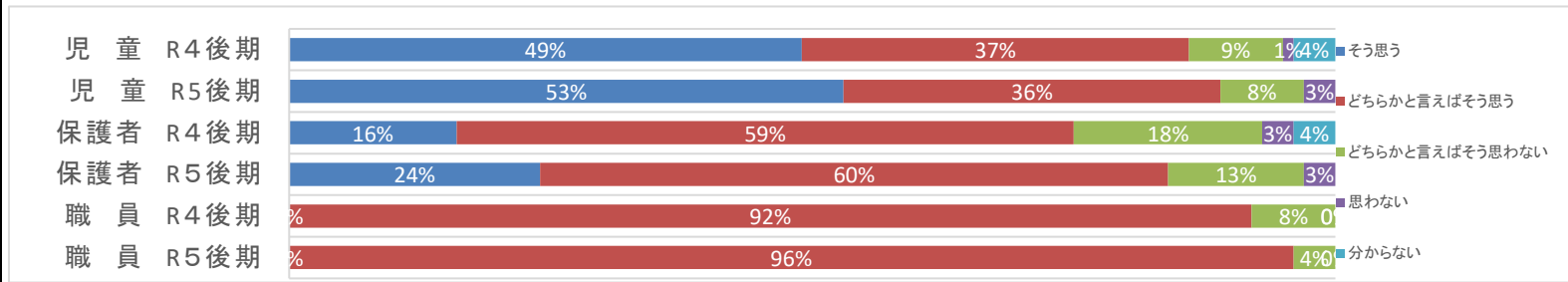
また、昨年度から本校の課題として捉えている設問②「自分には、よいところがある」の児童の回答についても、今年度は児童の肯定的な回答が76%となり、昨年の数値を8%上回りました。本校では、重点目標「自分を、仲間を大切にする子」とし、その実現に向けて、子供たちが日々の生活においていろいろなことに進んでチャレンジできるよう励まし合ったり、仲間の頑張りをやさしい言葉で応援し合ったりすることを奨励してきました。また、自己肯定感が持ちにくいという点は、数年前からの本校の課題なので、子供たちのよさを認め、自分のよさに気付けるようにする取組も継続してきましたが、少しずつそれらの成果が表れてきていると感じています。ただ、まだ決して高い数値とは言えないため、引き続き一人一人が輝き、支え合っていける居場所づくりに取り組んでいきたいと思えます。ご家庭でも、温かな声掛けをお願いいたします。

さらには、設問④の「友達の気持ちを聞いたり、優しく言葉を掛けたりすることができる」についても、児童の肯定的な回答が9%上昇しました。コロナが明け、友達と制限なく学習したり遊んだりする中で、子供同士互いに理解が進み、思いやりをもって生活することができています。そういったことが数値にも表れているのかもしれません。やさしい気持ちの子供たちが増えていくことで、学習や生活も充実していきます。今後も、周りの友達のことを思いやれるやさしい鷹岡小学校の子供が増えていくよう支援をしていきます。

2 学習面について

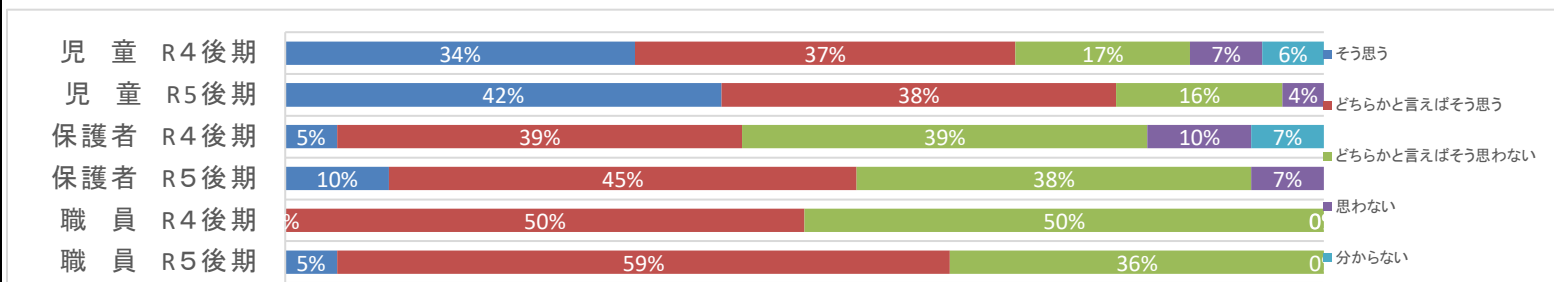
⑧【保護者】【教職員】子供は、授業で学習したことが分かっている。
【児童】授業で学習したことが分かる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	49%	37%	9%	1%	4%
児童 R5後期	53%	36%	8%	3%	
保護者 R4後期	16%	59%	18%	3%	4%
保護者 R5後期	24%	60%	13%	3%	
職員 R4後期	0%	92%	8%	0%	0%
職員 R5後期	0%	96%	4%	0%	



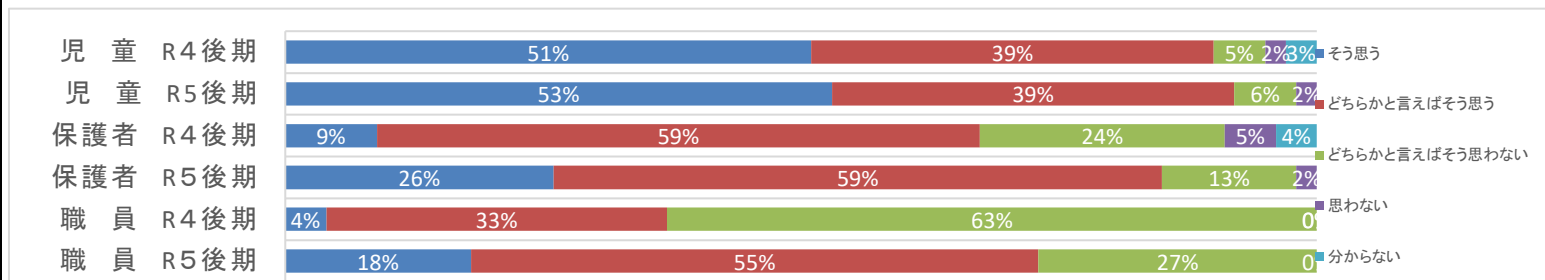
⑨【保護者】【教職員】子供は、自ら問題を見付け、工夫して粘り強く解決しようとしている。
【児童】授業では自分で見付けた「はてな」をじっくり考えている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	34%	37%	17%	7%	6%
児童 R5後期	42%	38%	16%	4%	
保護者 R4後期	5%	39%	39%	10%	7%
保護者 R5後期	10%	45%	38%	7%	
職員 R4後期	0%	50%	50%	0%	0%
職員 R5後期	5%	59%	36%	0%	



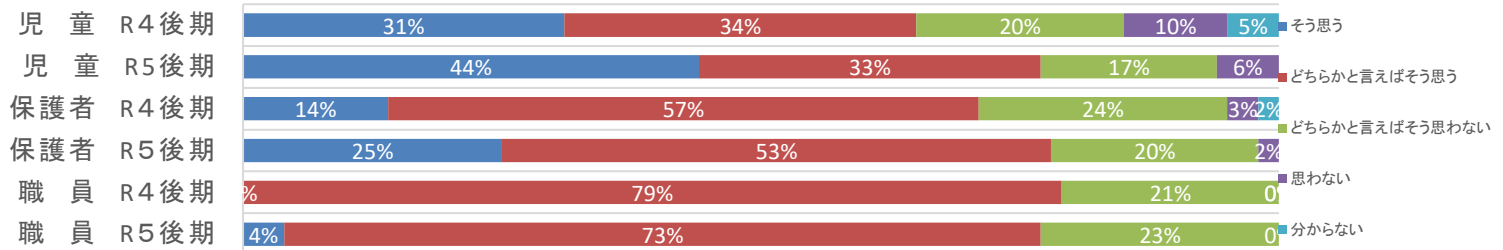
⑩【保護者】【教職員】子供は、相手の話をじっくり聴くことができる。
【児童】友達や先生の話に心を傾けて聴いている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	51%	39%	5%	2%	3%
児童 R5後期	53%	39%	6%	2%	
保護者 R4後期	9%	59%	24%	5%	4%
保護者 R5後期	26%	59%	13%	2%	
職員 R4後期	4%	33%	63%	0%	0%
職員 R5後期	18%	55%	27%	0%	



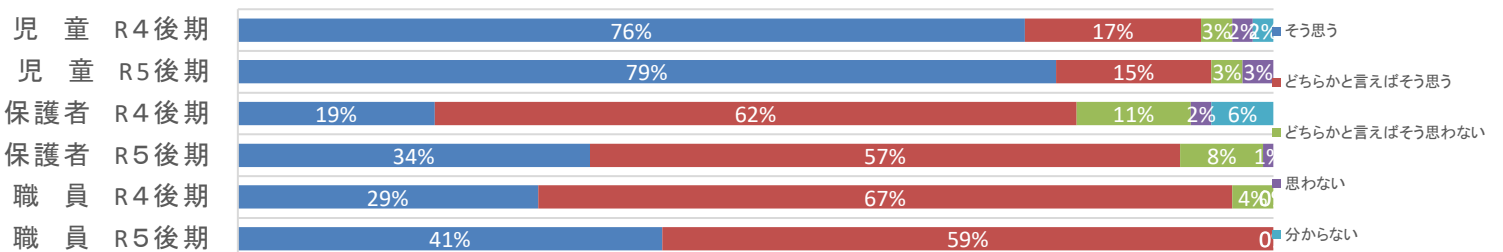
⑪【保護者】【教職員】子供は、自分の考えを伝えることができる。
【児童】自分の考えを友達や先生に伝えられる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	31%	34%	20%	10%	5%
児童 R5後期	44%	33%	17%	6%	
保護者 R4後期	14%	57%	24%	3%	2%
保護者 R5後期	25%	53%	20%	2%	
職員 R4後期	0%	79%	21%	0%	0%
職員 R5後期	4%	73%	23%	0%	



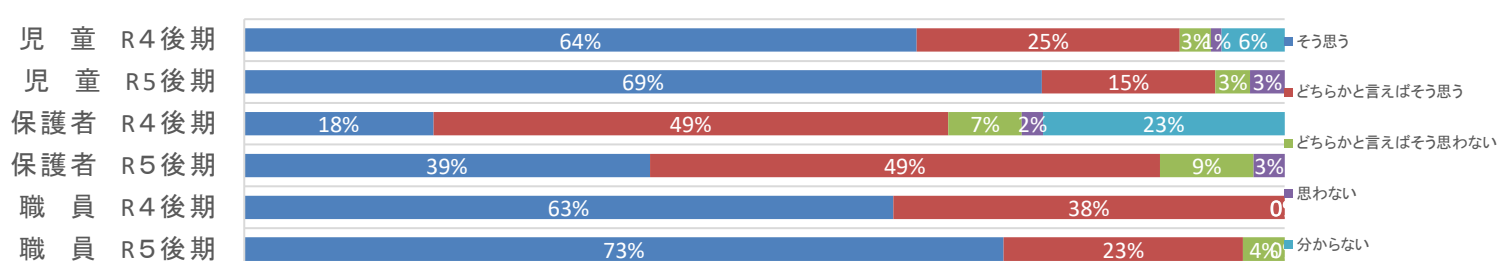
⑫【保護者】【教職員】子供は、友達との学習を楽しんでいる。
【児童】友達と一っしょに勉強することは楽しい。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	76%	17%	3%	2%	2%
児童 R5後期	79%	15%	3%	3%	
保護者 R4後期	19%	62%	11%	2%	6%
保護者 R5後期	34%	57%	8%	1%	
職員 R4後期	29%	67%	4%	0%	0%
職員 R5後期	41%	59%	0%	0%	



⑬【保護者】【職員】子供は、授業中、パソコンやプロジェクターを使ったり、カメラ機能を使ったりして学習している。
【児童】授業中、パソコンやプロジェクターを使ったり、カメラ機能を使ったりして学習している。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	64%	25%	3%	1%	6%
児童 R5後期	69%	15%	3%	3%	
保護者 R4後期	18%	49%	7%	2%	23%
保護者 R5後期	39%	49%	9%	3%	
職員 R4後期	63%	38%	0%	0%	0%
職員 R5後期	73%	23%	4%	0%	



〈考察〉

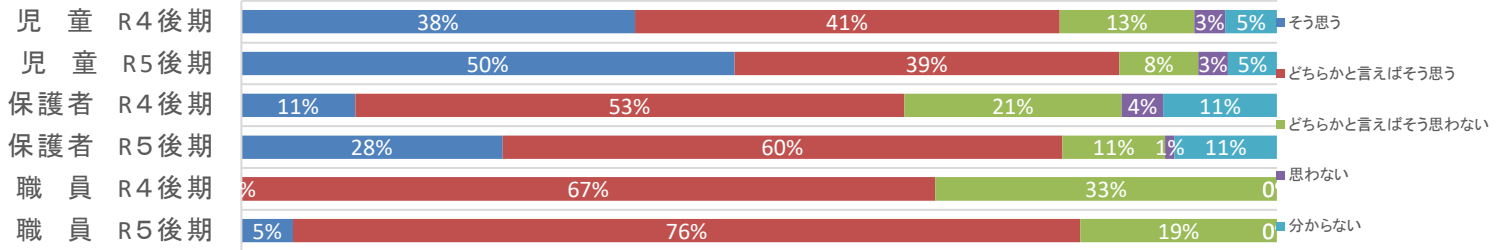
設問⑧の「授業で学習したことが分かっている」では、肯定的な回答（そう思う・どちらかと言えばそう思う）が昨年度に比べ、児童・保護者・職員の3者において上昇しています。要因としては、ICTを活用した授業が全学年において本格実施され、多様な授業が展開されていることで、子供たちが自分たちに応じたいろいろな学びを進めることができていることが考えられます。また、今年度の本校の研修の重点である「子供がつながる豊かな対話」を教員が意識し合うことで、学級の子供たちみんなで意見を出し合い、考え、対話を通して自身の考えをつくっていく授業が大切にされたことも考えられます。それは、設問⑫「友達と一緒に勉強することは楽しい」で、子供たちの肯定的な回答が94%と大変高い値になっていることから分かります。今後も、どの子供も「分かった」「できた」と実感できる授業を目指していきます。

学習面においては、どの項目も肯定的な回答の割合が高かったですが、設問⑨「授業では自分で見つけた「はてな」をじっくり考えている。」と、設問⑪「自分の考えを友達や先生に伝えられる」の評価が他の項目に比べ、少しだけ低いという状況が見られました。このことから、鷹岡小の子供たちは自分から疑問を見つけて探求したり、自分から友達にどんどん自身の意見を伝えていくことが苦手と感じている子供もいることが分かります。今後、子供たちが「どうしてかな?」「考えてみたいな」と思えるような授業を行っていきけるようにしていきます。

3 学校教育活動について

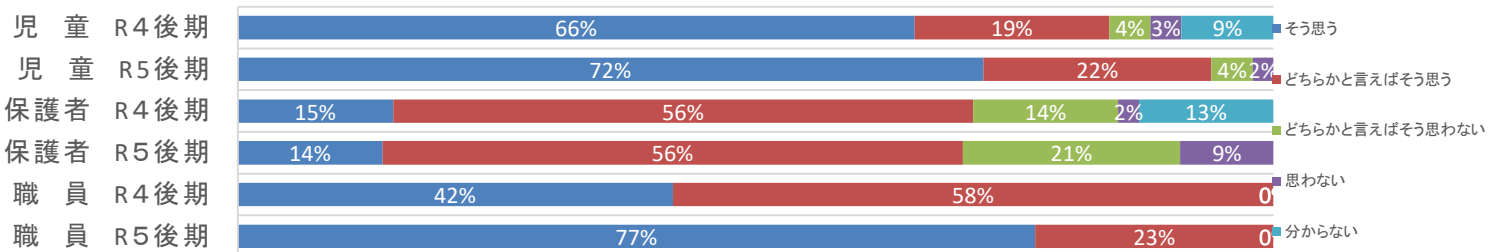
⑭ 【保護者】 【教職員】 子供は、「自分を、仲間を大切にする子」を意識して生活している。
 【児童】 「自分を、仲間を大切にする子」を意識して生活している。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	38%	41%	13%	3%	5%
児童 R5後期	50%	39%	8%	3%	5%
保護者 R4後期	11%	53%	21%	4%	11%
保護者 R5後期	28%	60%	11%	1%	11%
職員 R4後期	0%	67%	33%	0%	0%
職員 R5後期	5%	76%	19%	0%	0%



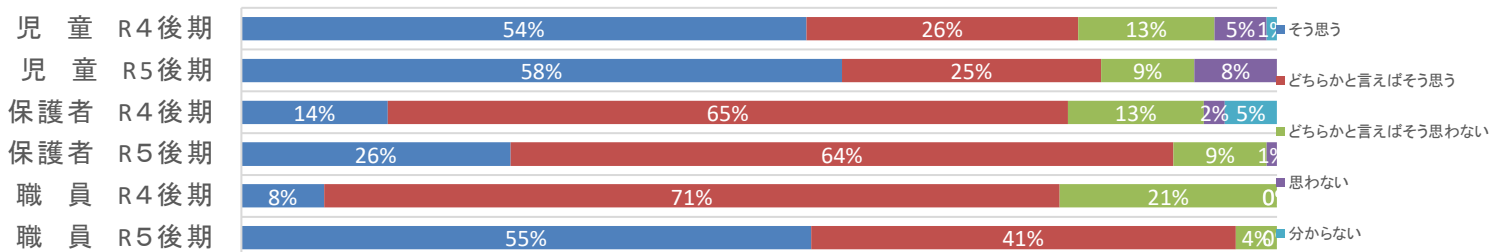
⑮ 【保護者】 【教職員】 学校は、子供の悩みや相談に親身になって応じている。
 【児童】 先生は、困っていることや、悩んでいることをしっかりきいてくれる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	66%	19%	4%	3%	9%
児童 R5後期	72%	22%	4%	2%	
保護者 R4後期	15%	56%	14%	2%	13%
保護者 R5後期	14%	56%	21%	9%	
職員 R4後期	42%	58%	0%	0%	0%
職員 R5後期	77%	23%	0%	0%	



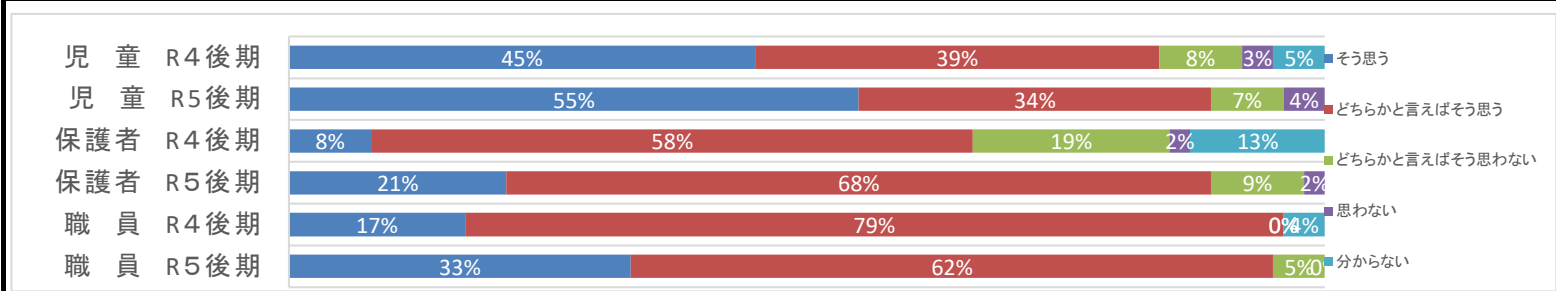
⑯ 【保護者】 【教職員】 お便りや担任からの連絡、学校行事への参加等により学校の様子がよく分かる。
 【児童】 学校のことを、家でよく話す。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	54%	26%	13%	5%	1%
児童 R5後期	58%	25%	9%	8%	
保護者 R4後期	14%	65%	13%	2%	5%
保護者 R5後期	26%	64%	9%	1%	
職員 R4後期	8%	71%	21%	0%	0%
職員 R5後期	55%	41%	4%	0%	



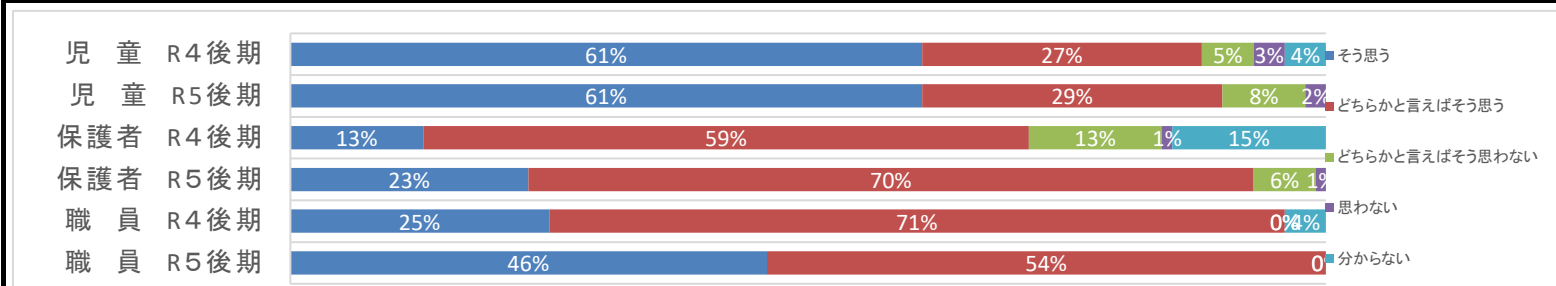
⑰【保護者】【教職員】学校行事はねらいがはっきりしていて、特色ある行事となっている。
 【児童】いろいろな行事に向かって、目標をもって頑張っている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	45%	39%	8%	3%	5%
児童 R5後期	55%	34%	7%	4%	
保護者 R4後期	8%	58%	19%	2%	13%
保護者 R5後期	21%	68%	9%	2%	
職員 R4後期	17%	79%	0%	0%	4%
職員 R5後期	33%	62%	5%	0%	



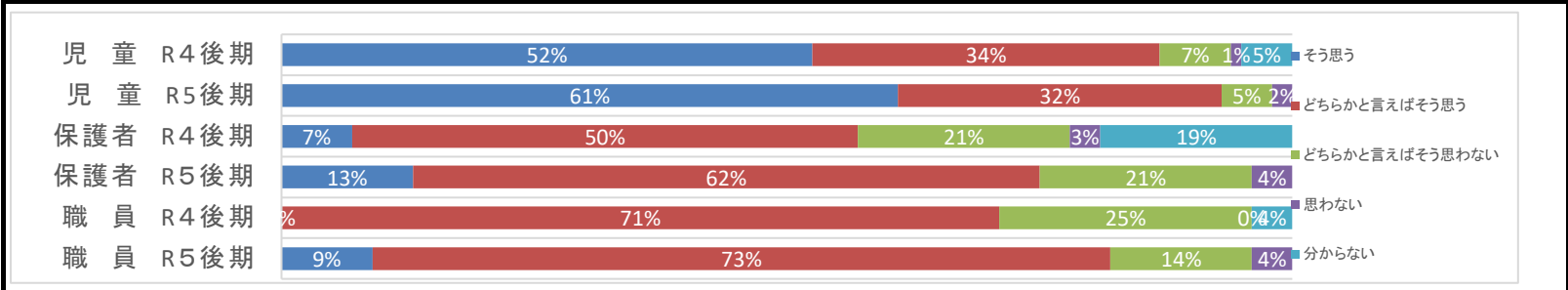
⑱【保護者】【教職員】学校の施設、設備は安全で、整備されている。
 【児童】学校は、安全・安心に過ごすことができる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	61%	27%	5%	3%	4%
児童 R5後期	61%	29%	8%	2%	
保護者 R4後期	13%	59%	13%	1%	15%
保護者 R5後期	23%	70%	6%	1%	
職員 R4後期	25%	71%	0%	0%	4%
職員 R5後期	46%	54%	0%	0%	



⑱【保護者】【教職員】子供は、緊急時に自分の命を守るために適切な行動をとることができる。
 【児童】緊急時に自分の命を守るために考えて行動することができる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	52%	34%	7%	1%	5%
児童 R5後期	61%	32%	5%	2%	
保護者 R4後期	7%	50%	21%	3%	19%
保護者 R5後期	13%	62%	21%	4%	
職員 R4後期	0%	71%	25%	0%	4%
職員 R5後期	9%	73%	14%	4%	



〈考察〉

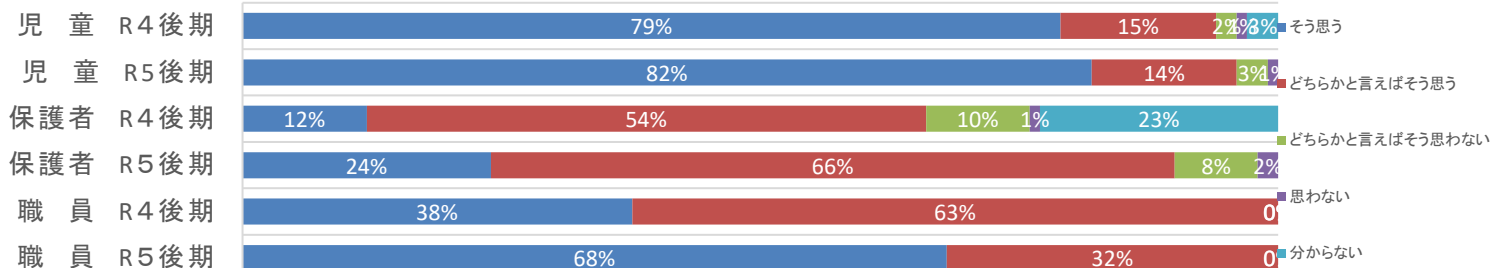
新型コロナウイルスの流行が少しずつ落ち着いてきた今年度は、昨年度までに比べて保護者の皆様に子供たちの学校での様子を見ていただくことのできる機会が増えたのではないかと感じています。設問⑯「お便りや担任からの連絡、学校行事への参加により学校の様子がよく分かる」は、保護者の皆様からの肯定的な意見が昨年度より10%以上も上昇し、90%となっております。授業参観や、行事等を通して子供たちが学校で仲間と関わりながら生活できている様子を見ていただけたことも大変よかった点です。また、設問⑰「学校行事はねらいがはっきりしていて、特色ある行事となっている」においても、保護者の方からの肯定的な意見が昨年度より大きく伸びています。実際に学校の様子を見ていただくことで、保護者の方々にとっても学校行事におけるねらいや目的等が理解しやすくなり、そこで生き生きと頑張る子供の姿を見ることで安心感にもつながったのではないかと感じております。今後、新型コロナウイルス等の感染症の流行がどのような状況になっていくかは分からない面もありますが、保護者の皆様には可能な限り子供たちの様子を見ていただく機会を多く作ったり、お便り等を通じた情報提供をこまめに行ったりすることを進めてまいります。

設問⑱は昨年度より追加した項目になります。災害や犯罪などに対して、命を守るために適切に判断し、行動がとれる力が今後ますます求められてきます。今年の元日に能登半島で大きな地震があり、富士市においても揺れを感じたことから、災害等の緊急時における対応の仕方について、子供たち自身も考えるきっかけになったことと思われます。学校においては、避難訓練や防犯訓練、様々な授業を通して、緊急時の行動の仕方について、子供たちに指導をしていきます。ご家庭でも、折に触れ話題にさせていただきながら、万が一に備えていただけるとありがたいです。

4 コミュニティスクール、小中一貫について

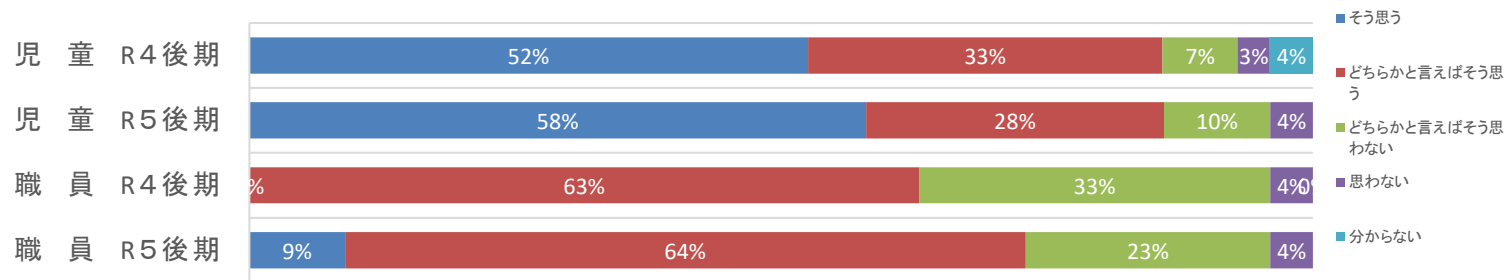
⑳地域の皆様や団体の方が子供たちや学校の教育活動に関わることは
 【保護者】【教職員】子供たちにとって良い効果が表れていると思いますか。
 【児童】あなたにとってよいことですか。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	79%	15%	2%	1%	3%
児童 R5後期	82%	14%	3%	1%	
保護者 R4後期	12%	54%	10%	1%	23%
保護者 R5後期	24%	66%	8%	2%	
職員 R4後期	38%	63%	0%	0%	0%
職員 R5後期	68%	32%	0%	0%	



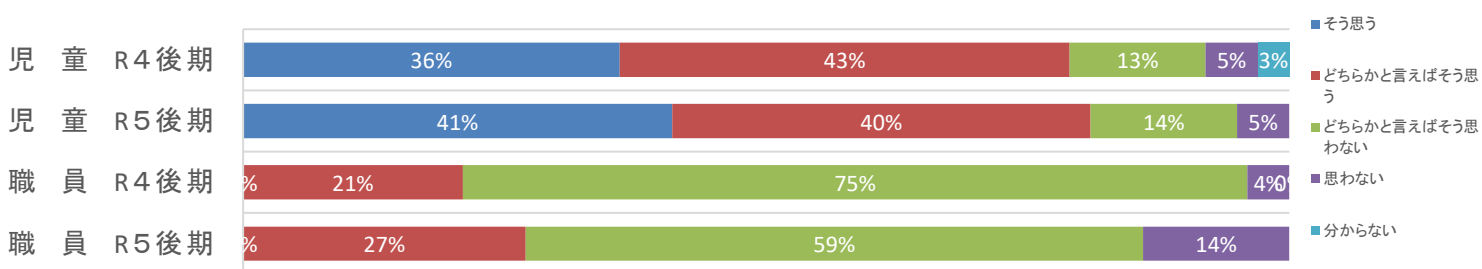
㉑【教職員】子供は、明るい挨拶ができています。
 【児童】明るい挨拶ができています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	52%	33%	7%	3%	4%
児童 R5後期	58%	28%	10%	4%	
職員 R4後期	0%	63%	33%	4%	0%
職員 R5後期	9%	64%	23%	4%	



㉒【教職員】子供は、きれいな学校に向けて黙動清掃ができています。
 【児童】きれいな学校に向けて、だまってそうじができています。

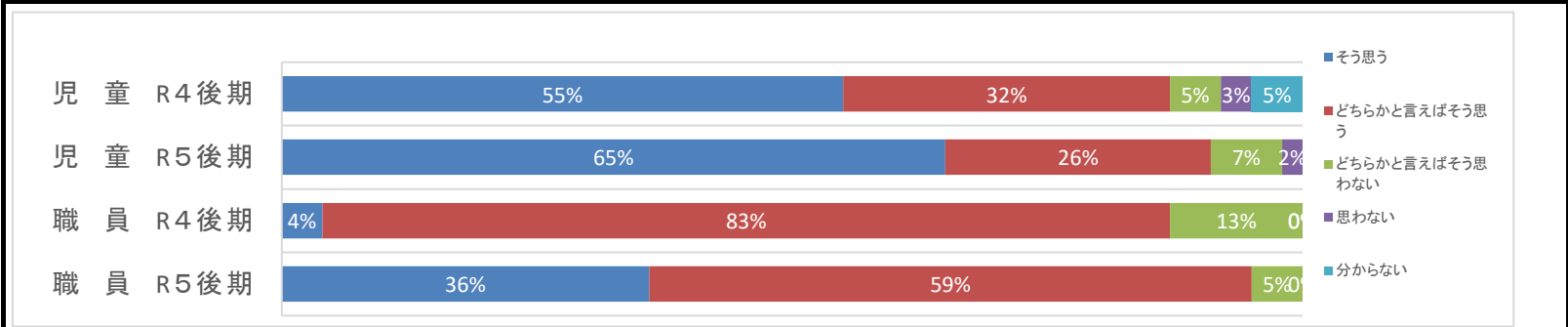
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	36%	43%	13%	5%	3%
児童 R5後期	41%	40%	14%	5%	
職員 R4後期	0%	21%	75%	4%	0%
職員 R5後期	0%	27%	59%	14%	



⑳【教職員】子供は、相手の気持ちを考えた言動をとったり、学級の仲間と楽しく過ごしたりと絆を深めることができている。

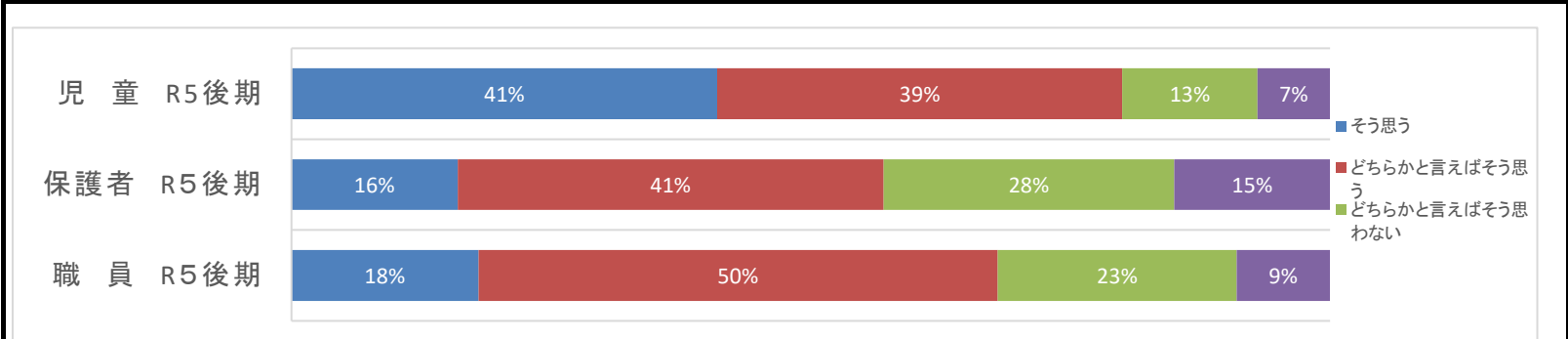
【児童】友達の気持ちを考えたり、クラスの友達と楽しく過ごしたりと絆を深めることができている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R4後期	55%	32%	5%	3%	5%
児童 R5後期	65%	26%	7%	2%	
職員 R4後期	4%	83%	13%	0%	0%
職員 R5後期	36%	59%	5%	0%	



㉑【保護者】【職員】三校（鷹小・天間小・鷹岡中）合同で取り組んでいるノーメディアウィークは有効だった。
【児童】ノーメディアウィークに頑張っ取り組めた。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない	分からない
児童 R5後期	41%	39%	13%	7%	
保護者 R5後期	16%	41%	28%	15%	
職員 R5後期	18%	50%	23%	9%	



〈考察〉

本年度はCS（コミュニティスクール）5年目となります。今年度も、子供たちの登下校の見守りや校外学習のサポート、園芸や学習のお手伝いなど、様々な場面で地域の方のお力をお借りしながら教育活動を進めてきました。地域の方々の支えによって、子供たちが元気によりよい学校生活を送ることができています。このことは、設問㉑「地域の方々が子供たちや学校の教育活動に関わることはあなたにとってよいことですか」における児童の評価の高さから分かります。CSディレクターを中心に「できる時にできるコトを！」を合言葉にCSボランティアの輪が広がってきています。ぜひ、今後も地域の方々とともにによりよい学校にしていきたいと思ひます。ご協力をよろしくお願いしします。

設問㉑㉒㉓は鷹岡小スリースターについてです。子供たちにとってスリースターの目標が定着していることがうかがえます。挨拶については、登下校の際や校内において元気にしている子供が多いと感じられます。来年度は、鷹岡中・天間小とともにあいさつ運動に指定校にも当たっていますので、児童会や委員会を中心にさらに盛り上げていければよいと考えております。スリースターの中で、教員が課題と考えているのが設問㉒にある「黙働清掃」です。子供たち自身の評価はそれほど低くないですが、まだまだ清掃の際における話し声や集中できていない姿が見られます。何のための黙働清掃なのか、清掃においてどのような姿を目指していきたいのか等、今後も子供たちと話し合いながら改善を図っていきます。

5 保護者の皆様からのご意見、ご質問、ご要望について

授業参観等の、行事への保護者の人数制限をなくしてほしいです。

今年度は、5月に新型コロナウイルスが5類になったことに伴い、11月の授業参観においては、当初、地区別の分散参観で予定していたものを地区の枠を無くして参観できるようにしました。また、1月の授業参観では、参観できる保護者の方の人数制限を撤廃して実施しました。新型コロナウイルスやインフルエンザ等の流行性感染症の脅威が全く無くなったわけではないので、今後も感染症の流行状況等を見て判断しますが、多くの保護者の方々にお子様の学校での活動の姿を参観していただきたい、という思いはあるため、できる限り制限なく授業参観等が開催できるよう配慮してまいります。

授業中、男の子がいけない事をしていて注意をしたところ、「お前なんかこの世にいなればいい。」や、「学校やめろ。」や、「死ね。」など暴言を吐かれたと、ひどく落ち込んで帰ってくるが多々あります。言い返せば、「先生に言うからな。」と言われ言い返すことも出来ないと言っています。すごくもどかしいようです。酷い事を言う子が減ってくれることを願っています。

上記にあるようなひどい言葉は、言われた本人のみならず、聞いている周りの人たちみんなの気持ちを落ち込ませたり、悲しませたりするものです。大切な仲間に対して、耳をふさぎたくなるようなひどい言葉を浴びせる行為は、到底容認されるものではありません。もし、お子さんが友達からこのような言葉を言われたり、聞いたりしたら、迷わず担任や近くにいる教員に伝えるようにしてもらいたいです。鷹岡小学校では、上記のようなひどい言葉を校内から無くしていけるよう全校をあげて努力していきます。そして、言ってしまった児童にはその場で適切な指導を行い、相手の気持ちを考えて発言することの大切さや他の人たちを尊重する人権感覚を身に付けられるよう声を掛けていきます。また、言われてしまった児童には、心のフォローをすぐに行えるようにしていきます。重点目標「自分を、仲間を大切にする子」の実現のため、相手に優しい言葉を使うことを大切に今後も指導してまいります。

交通安全や防犯対策の授業、また、芸術や文化に触れるような体験(劇団、美術品鑑賞とか)、そして毎日の挨拶と体力作りなどを行っていただきたいです。

交通安全については今年度、入学間もない1年生と公道での自転車の運転を始める4年生が4月に、警察署の交通安全協会の方を講師として招いて、「交通教室」を開催しました。こちらは、来年度の計画においても実施していきます。また、その他にも、地域の見守りボランティアの方が登下校の通学路に立ってくださったり、PTAの皆様が旗振りボランティアを行ったりしてくださっています。芸術教室も毎年、劇団や専門家の方を招いて音楽鑑賞と演劇鑑賞を交互に開いています。来年度は、演劇教室を開催予定です。また、あいさつ運動は、鷹岡小児童会が力を入れているスリースターの1つとなっているので、運営委員会を中心に校内であいさつを呼び掛ける姿がよく見られます。また、令和6・7年度は、鷹岡中学区の3校はあいさつ運動の指定を受けていますので、鷹岡中・天間小とも連携してより力を入れて取り組んでいきます。体力づくりについては、近年はコロナによる密回避の措置もあったことから子供たちの体力は下降傾向気味な面もありました。しかし、今年度はほぼコロナ前と同じような体育授業や外遊びを行うことができ、少しずつ子供たちの体力も回復が見られてきています。来年度は、更なる体力向上を目指して、様々な活動を計画していきます。

給食は時間がない中で食べなくてはならず子供達は少し大変だなと感じました。給食だけに限らず心身の健康の為に食や命を大切に、健やかに育む活動にご無理のない範囲で力を入れていただけたらとも思いました。

鷹岡小学校は、教室から給食室までが離れているので、給食当番の子供たちが並んで(給食列車で)給食室まで給食を取りに行っています。食器等の返却も同じように給食室までみんなで並んで返します。それもあって、どうしても決められている給食の時間では足りないケースが多く見られました。このような現状から、来年度は給食の時間を5分間伸ばそうと考えております。少しでも心の余裕をもって給食を食べ、支度や片付けも丁寧にできるように配慮していきます。また、定期的に給食便りや保険便りを発行して、食生活や心身の健康について子供たちが意識できるように取り組んだり、栄養士が参加した食育の授業も実践しております。子供たちが、自分自身の心や体に興味・関心をもつことができ、健康に成長することができるよう今後も、学校全体で取り組んでまいります。

この他にもたくさんのご意見やご要望をいただきました。全職員で共有し、今後の教育活動に生かしていきます。ありがとうございました。